

---

# 株式会社メガチップス

2014年3月期 決算説明

<http://www.megachips.co.jp/>

# 目 次

---

1. 2014年3月期 通期業績報告	.....	3
2. 2015年3月期・中期経営方針	.....	9
3. 2015年3月期・中期業績予想	.....	15

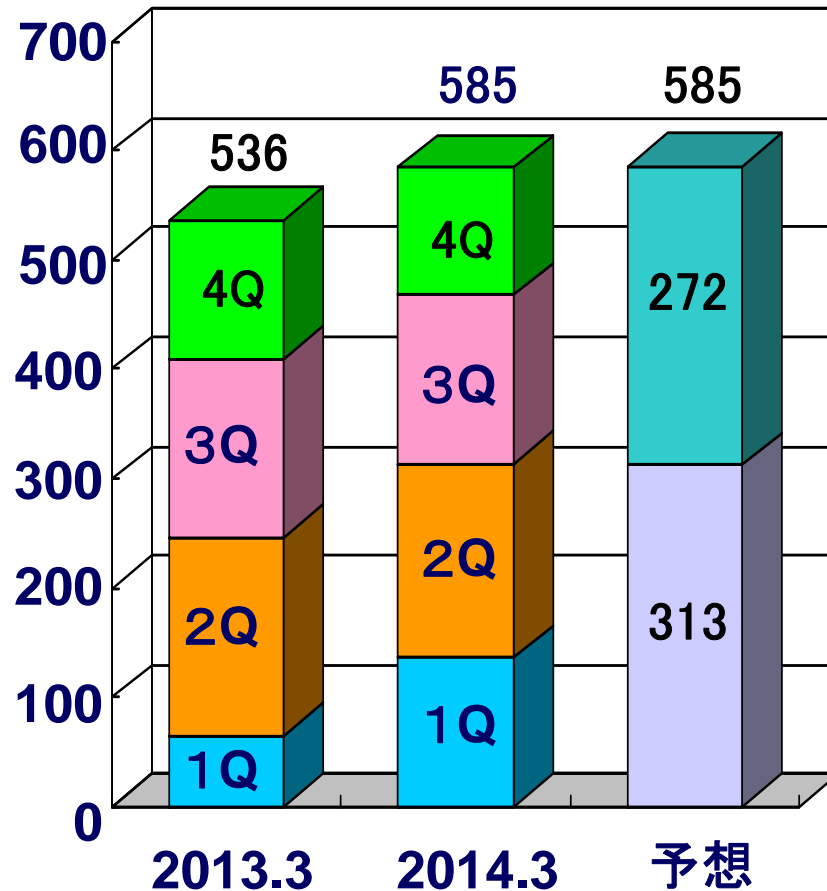
# 2014年3月期 通期業績報告

---

# 2014年3月期 連結業績

## 売上高

(億円)



売上高 : 585億円  
対前期増減率 : + 9.0%

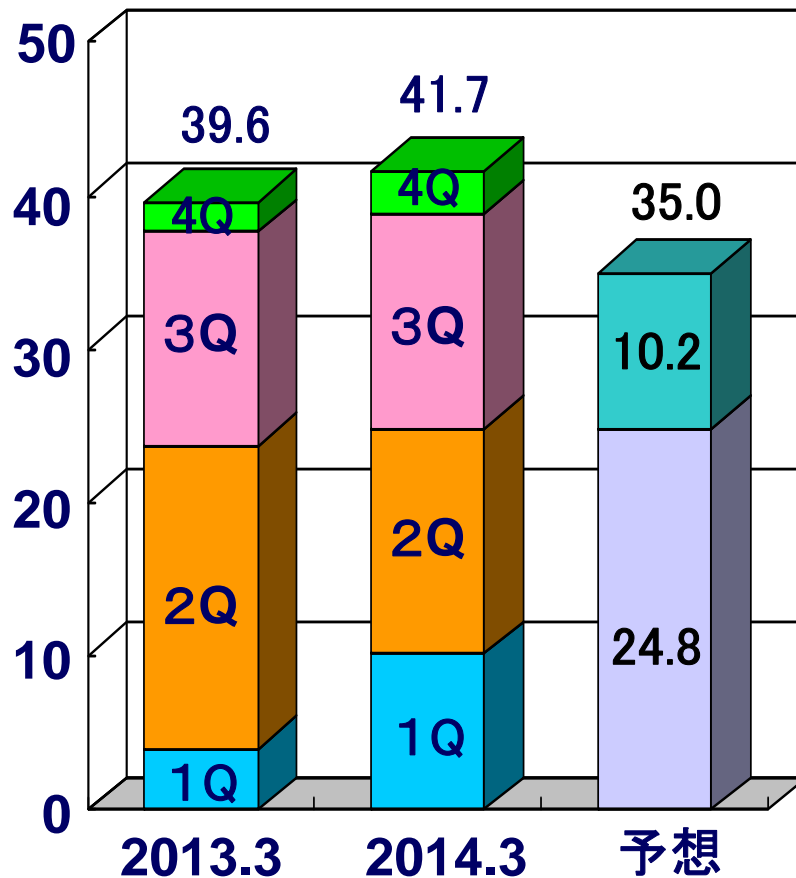
前年度と比較し、デジタルカメラ用LSIの新製品が寄与したこと、また、液晶パネル向けLSIや事務機器向けLSIの需要が堅調に推移したことにより、売上高は増加しました。なお、連結売上高は過去最高売上高となりました。

※2014.3期通期予想数値は、2014年1月31日の公表数値です。

# 2014年3月期 連結業績

## 営業利益

(億円)



営業利益 : 41.7億円  
対前期増減率 : + 5.3%

デジタルカメラ用LSIの新製品が寄与したこと、液晶パネル向けLSIや事務機器向けLSIの需要が堅調に推移したことが、前年度からの利益増に貢献しました。

※2014.3期通期予想数値は、2014年1月31日の公表数値です。

# 2014年3月期通期 業績(P/L)サマリー

(単位:百万円)		2014.3期 通期実績	2013.3期 通期実績	2014.3期 通期予想	対前年 同期比	対 通期予想
連結	売上高	※1 58,469	53,623	58,500	+ 9.0%	99.9%
	営業利益	4,173	3,962	3,500	+ 5.3%	119.2%
	経常利益	4,277	4,120	3,600	+ 3.8%	118.8%
	当期純利益	※1、2 4,725	※3 4,044	4,600	+ 16.9%	102.7%
	1株利益(円)	202.40	170.23	197.01	+ 18.9%	102.7%

※1 連結売上高及び連結当期純利益は過去最高額となっております。

※2 2014年3月期においては、2013年4月1日付で川崎マイクロエレクトロニクス株式会社を吸収合併したことに伴い、同社より承継した税務上の繰越欠損金等で回収可能性の認められるものについて、繰延税金資産を計上しました。

これにより発生した税額調整(利益)2,374百万円を「法人税等調整額」に含めて計上しております。

※3 2013年3月期においては、KMEの発行済株式の全部を取得した際、取得時の時価純資産額が取得価額を上回った額14億6百万円を負ののれんとして計上しています。

# 2014年3月期\_財政状態

(百万円)

50,000

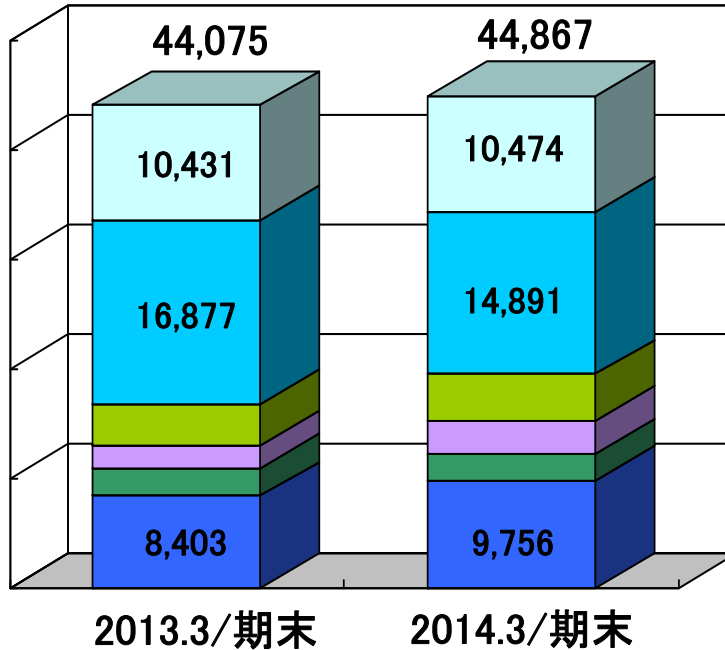
40,000

30,000

20,000

10,000

0



(百万円)

50,000

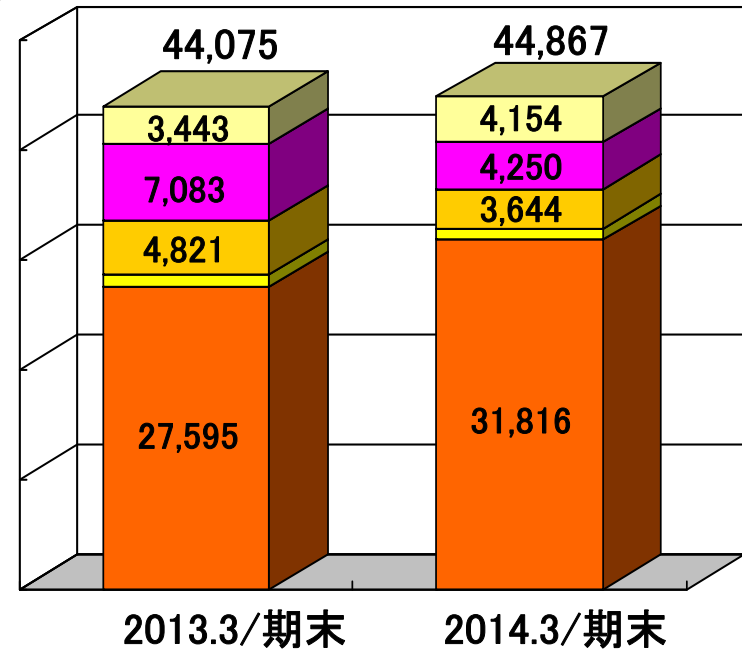
40,000

30,000

20,000

10,000

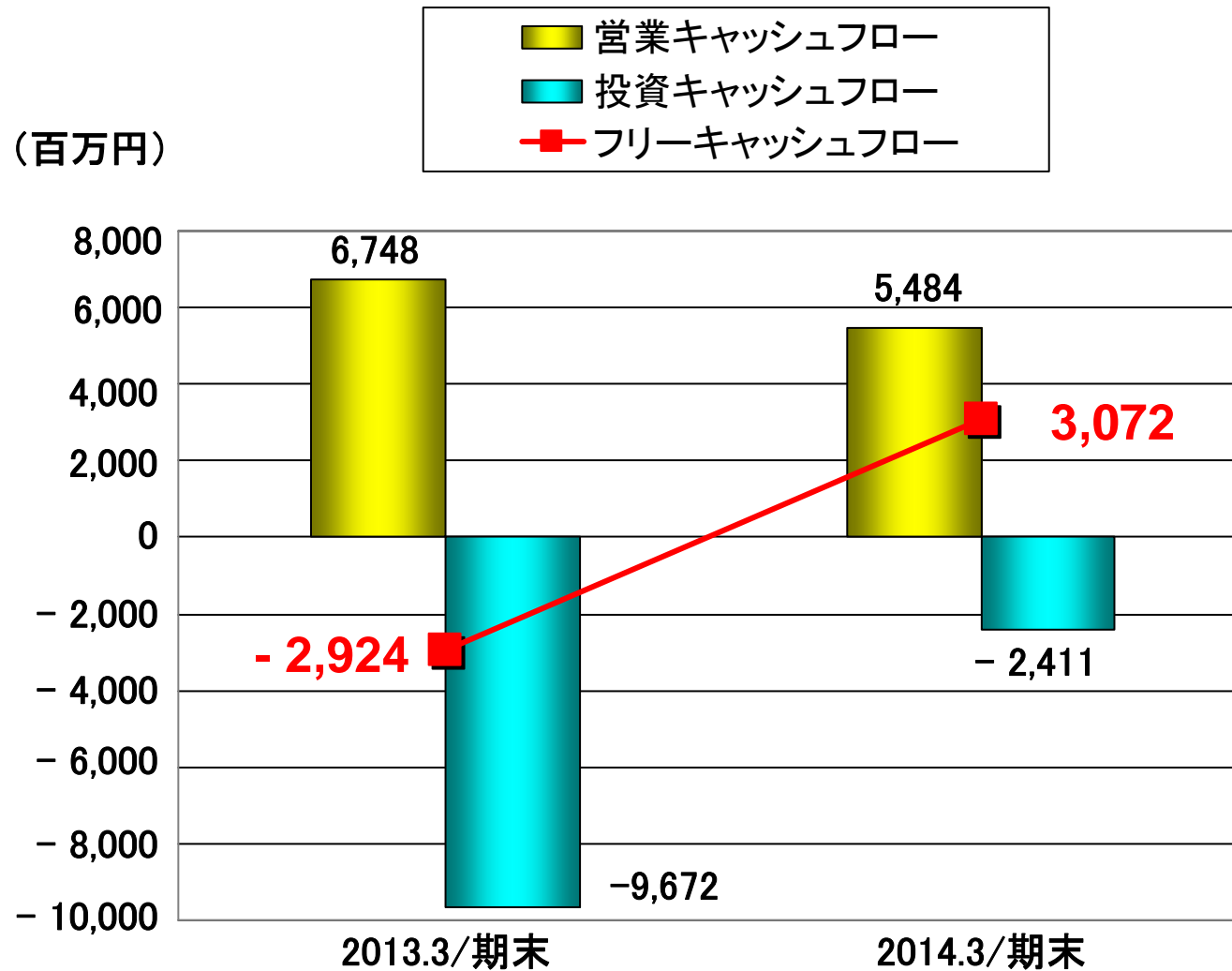
0



	2013.3/ 期末	2014.3/ 期末
現金及び預金	10,431	10,474
受取手形及び売掛金	16,877	14,891
たな卸資産	3,701	4,209
その他の流動資産	2,078	3,014
無形、有形固定資産	2,583	2,523
投資その他の資産	8,403	9,756

	2013.3/ 期末	2014.3/ 期末
支払手形及び買掛金	3,443	4,154
有利子負債	7,083	4,250
その他流動負債	4,821	3,644
その他固定負債	1,132	1,003
純資産	27,595	31,816

# 2014年3月期\_キャッシュフロー





# 2015年3月期 中期経営方針

---

# 2015年3月期 中期経営方針

ASSP事業とASIC事業の両輪による成長を図る事業構造改革を遂行する。

- ①成長産業分野において、ASSP(特定用途向LSI)や標準LSIの新たな事業育成を図る。
- ②グローバルマーケット進出のため海外拠点の体制強化の投資を行い、中核拠点として育成を図る。
- ③ASIC事業基盤を強化する。
- ④積極的な株主還元を行う。

# 中期経営方針

## ①成長産業分野において、ASSP(特定用途向LSI)や標準LSIの新たな事業育成を図る。

- 通信、車載、センサー信号処理、医療・ヘルスケア、ロボット分野で、新たなASSP事業を立ち上げる。
- 新たなASSP事業展開のため、積極的にM&A、戦略的事業提携、新規投資を行なう。
- 必要な体制整備、製品ラインナップの拡充を図り、顧客チャネルを海外に広げる。

既存ビジネス

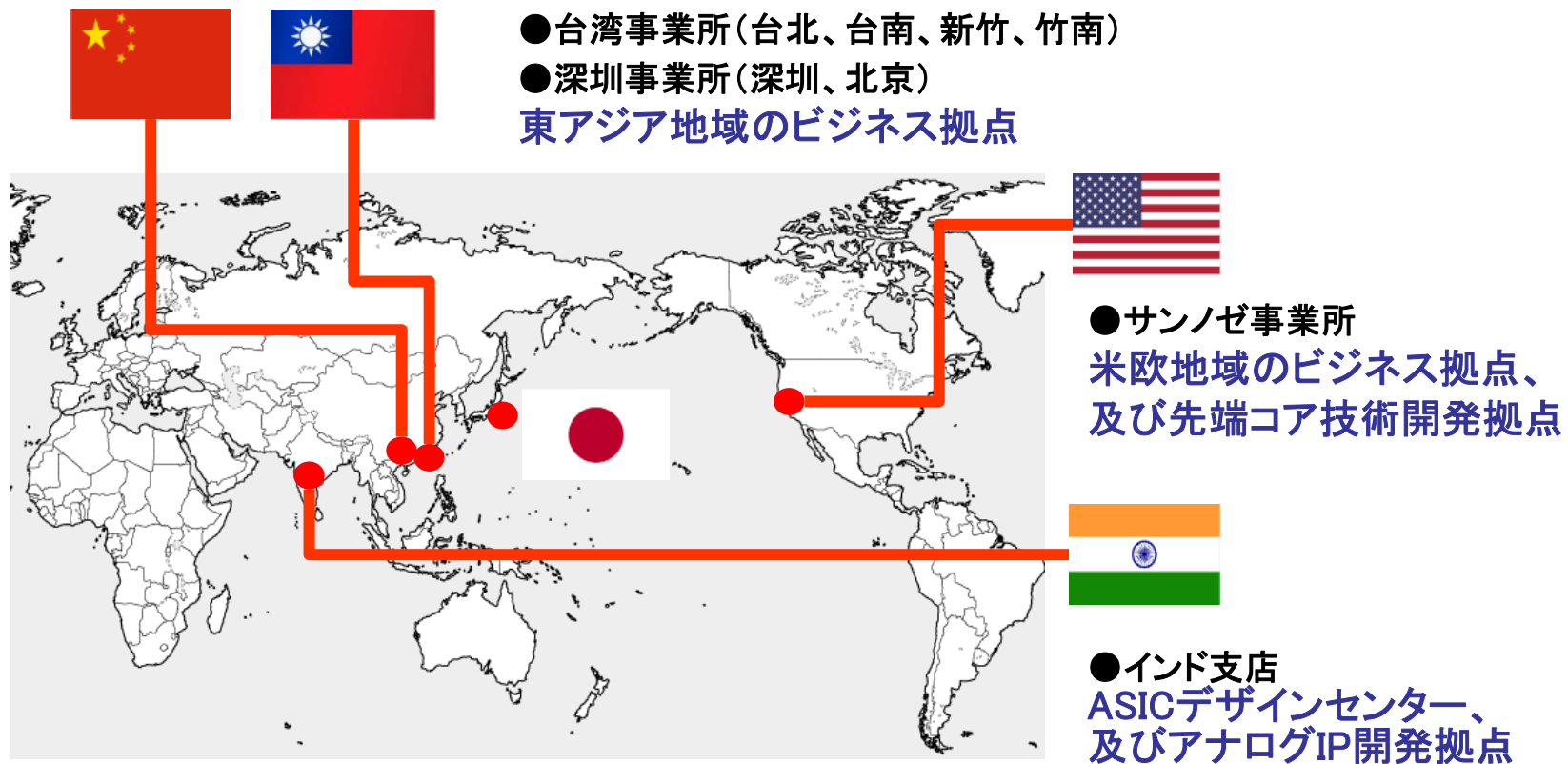


中長期のさらなる成長を目指し  
新たな分野参入への取組み

通信、センサー信号処理、  
医療・ヘルスケア、  
車載、ロボット、電源IC分野

# 中期経営方針

②グローバルマーケット進出のため海外拠点の体制強化の投資を行い、中核拠点として育成を図る。



# 中期経営方針

## ③ASIC事業基盤を強化する。

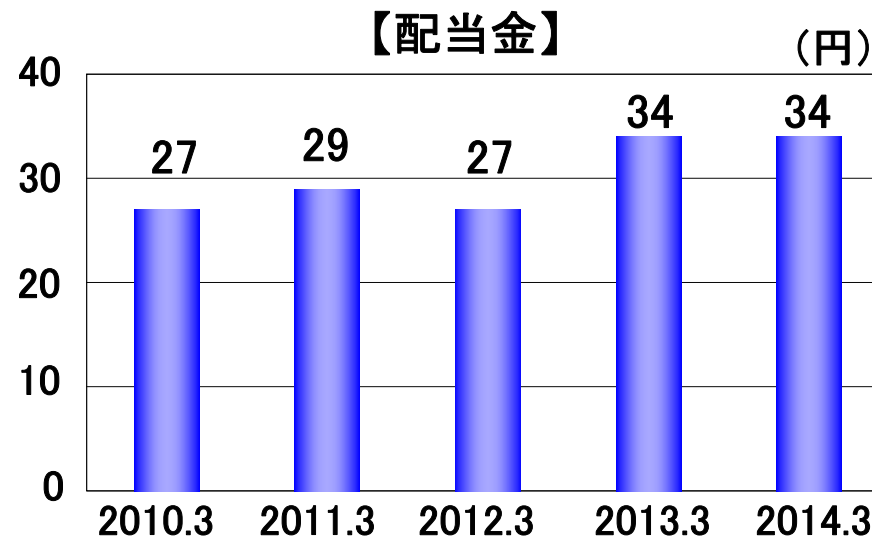
- ASIC事業において、LSI開発とアプリケーションの知識を融合することによる競争力に磨きをかけ、利益率の高いOA分野・産業機器分野でのシェアアップを図る。
- 企画・開発から、海外のウエハファンドリ、組立・テストサイトのコントロールまで一貫してサポートを行い、国内の顧客に安定した高品質のサービスを提供する。
- オフショア開発体制、製品に最適なファンドリ一体制を確立する。
- 先行技術開発、戦略的協業、M&Aによるコア技術獲得を推進する。

# 中期経営方針

## ④株主還元

### 【配当方針】

- ① 企業価値の持続的な向上を目指し、革新的な新技術の創出のための基礎研究や独創的な製品の開発、適正な事業ポートフォリオの実現、優秀な人材の獲得など、中長期の成長に向けて資金を振り向けます。また、経営環境の変化にも耐えうる健全な財務体質を維持するため、必要な内部留保を確保いたします。
- ② 剰余金の配当は、配当性向30%程度、または連結純資産配当率(DOE) 2%程度のいずれか高い方。
- ③ 資本効率向上のため、市場の状況、株価動向、財務状況等を勘案し、機動的に自己株式取得。(但し、決算上の特殊要因は除きます。)



# 2015年3月期業績予想

---

# 2015年3月期 業績予想

(単位:百万円)		2015.3 上期 予想	2015.3 通期 予想	2014.3 上期 実績	2014.3 通期 実績	対前年 上期 増減率	対前年 通期 増減率
連結	売上高	31,500	63,000	31,352	58,469	+ 0.5%	+ 7.7%
	営業利益	1,000	3,200	2,485	4,173	- 59.8%	- 23.3%
	経常利益	900	3,100	2,616	4,277	- 65.6%	- 27.5%
	当期純利益	400	1,700	3,817	4,725	- 89.5%	- 64.0%
	1株利益(円)	17.13	72.81	163.50	202.40	- 89.5%	- 64.0%

※ 2014年3月期においては、2013年4月1日付で川崎マイクロエレクトロニクス株式会社を吸収合併したことに伴い、同社より承継した税務上の繰越欠損金等で回収可能性の認められるものについて、繰延税金資産を計上しました。これにより発生した税額調整(利益)2,374百万円を「法人税等調整額」に含めて計上しております。



# 2015年3月期 業績予想

## 対前年度営業利益減の要因

2014年度をメガチップスの事業構造改革の年と位置づけ、ASIC事業偏重の事業構造から、ASSP事業とASIC事業の両輪による成長を図る事業構造への転換点の年とします。

そのため、将来に向けた新たなASSP事業立ち上げのため、2014年度の営業利益は減益となりますが、積極的な投資を行なうことを決断しました。必要な投資原資を生み出すべく既存事業の更なる拡大にも注力し、売上高は増収の計画です。

# 2015年3月期 業績予想

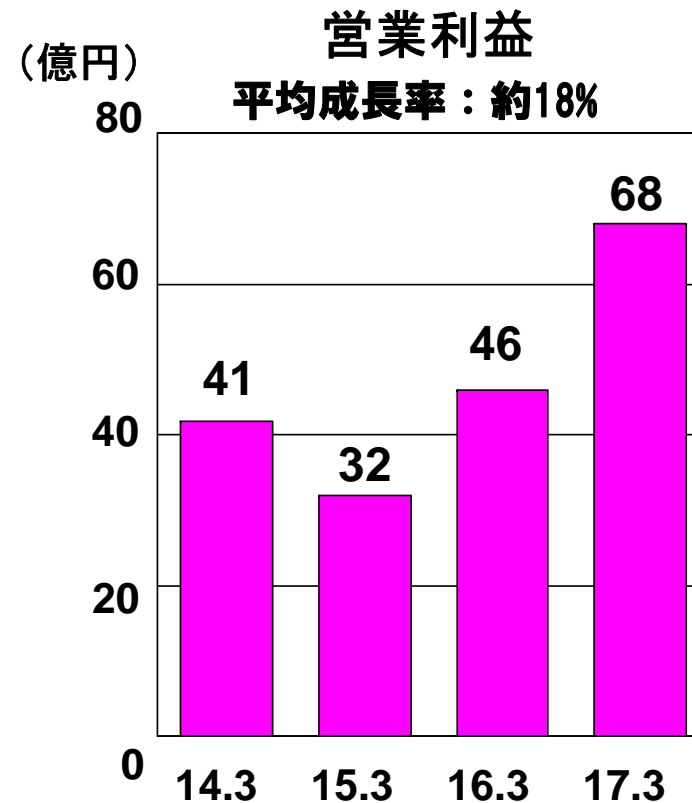
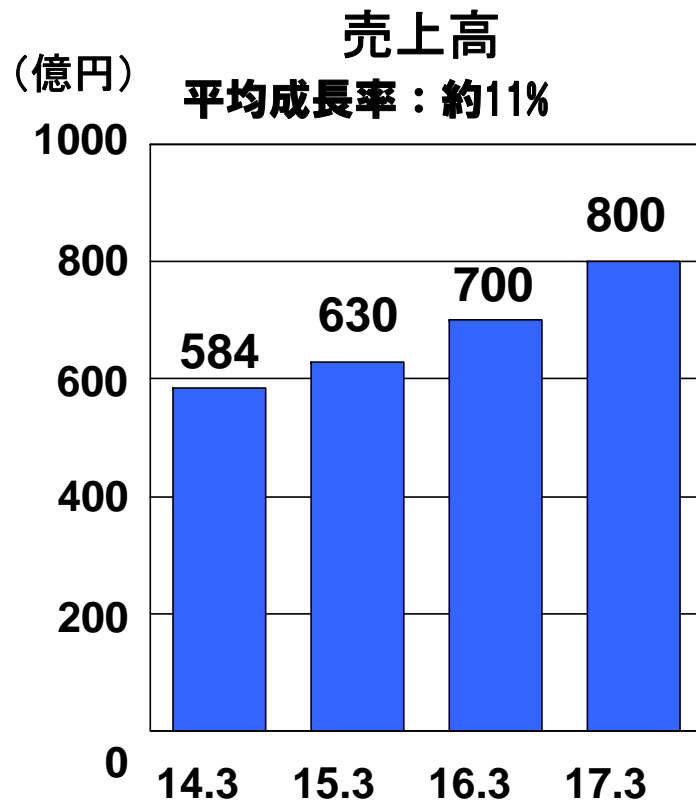
## 主な新規投資内容

- ①映像分野における未発表の事業買収に伴う、アジア及び欧米マーケットへの新規事業投資
  - ・新製品開発投資(米国、日本、インド拠点)
  - ・ビジネス構築投資  
(営業、FAE、オペレーション: Modiotekへの出資を含む新規投資)
- ②モバイル、車載、ヘルスケア分野での新規ASSP事業に関する投資
- ③Vidatronicへの出資を含む電源IC分野での新規事業投資
- ④ASIC開発力強化のための投資

# 中期業績目標

中期業績目標(2017年3月期の目指す姿)

●連結営業利益平均成長率 約18%



# IRポリシー

## ≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組みます。

## ≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

## ≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。  
また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

## ≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

## ≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

## ≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

## ≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス  
管理統括部 経営管理部 広報課

[ir-team@megachips.co.jp](mailto:ir-team@megachips.co.jp)

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル  
TEL: 06-6399-2884(代) FAX: 06-6399-2886